

2025 年秋① オンライン英語研修（米国・テンプル大学）～語学スキルアップ～ 募集要項

オンライン英語研修（米国・テンプル大学）～語学スキルアップ～は、テンプル大学アメリカ言語・文化センターが提供するプログラムです。受講者の目指すゴール別に設定された3つのコースそれぞれにおいて、英語スキルの向上を目指し、グローバルな職場で積極的に活躍するための基礎を築くことを目的とします。TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages)教授法の資格をもつ、経験豊かなテンプル大学の講師陣がコースを担当します。

1. 募集内容

(1) 講座名：

- ① ベーシック英語コミュニケーションスキルコース
- ② 発音&プレゼンテーションスキルコース
- ③ プロフェッショナル&アカデミック英会話コース

(2) 実施機関：テンプル大学アメリカ言語・文化センター

(3) 募集対象：①②③ともに、東北大学の学部生・大学院生（正規生に限ります。）

(4) 開講期間：毎週火曜日と木曜日 週2回のクラス（各120分）。

以下の日程は、①②③すべてのコース共通です。

2025/8/19（火）～2025/10/2（木）日本時間 午後8時～午後10時

(5) 受講要件：①②③それぞれのコースの語学要件は以下のとおりです。

- ① TOEFL iBT® 42 以上, TOEFL ITP® 440 以上, TOEIC® 415 以上, IELTS 4.0 以上
- ② TOEFL iBT® 55 以上, TOEFL ITP® 480 以上, TOEIC® 525 以上, IELTS 5.0 以上
- ③ TOEFL iBT® 70 以上, TOEFL ITP® 525 以上, TOEIC® 635 以上, IELTS 5.5 以上

(6) 受講方法：オンライン

※講義は Zoom、コースワークは Canvas システムを使用して実施いたします。接続に必要な情報は、テンプル大学より受講前にお知らせが届きます。なお、受講環境については、受講者が各自で準備することになります。

(7) 定員：①②③それぞれ20～30名 先着順

※ただし、コースの受講者が10名に満たない場合は、そのコースがキャンセルとなる可能性があります。

(8) 受講料：2万円（①②③共通）

※Google フォームにて参加申込後、**2025年7月22日（火）まで**に指定口座に受講料をお振込みください。受講料の振込みをもって、参加申込完了といたします。受講料の支払いについての案内は、参加申込フォームを送信後、Google フォームから送信される確認メールに記載されていますので、確認の上お振込みください。原則返金不可となり

ます。

(9) 講座概要：①②③それぞれについて、最終ページを参照ください。

2. 募集締切日および応募方法

(1) 募集締切日：**2025年7月18日（金）正午**

※受付期間内に定員を満たした場合等は、上記締切日を待たずに募集を終了する場合があります。

(2) 応募方法：以下の応募フォームからお申し込みください。

<応募フォーム> <https://forms.gle/R3GADxBzfA5BzoDi9>

(3) 応募条件：原則として受講するコースのすべてのレッスンへの参加が必須となります。

3. 個人情報の取り扱いについて

本プログラムへの申込に際し、応募フォームに入力された個人情報は、手続きや本プログラムに関する各種連絡等の目的でのみ利用します。

4. 本募集に関するお問い合わせ

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 海外留学係

Email: sab_query@grp.tohoku.ac.jp

受付時間：8:30～17:00 ※土日祝を除く

① ベーシック英語コミュニケーションスキルコース ／Basic English Communication Skills Course

ディスカッションや共同作業を通して、新しい語彙を取り入れた日常的な出来事について話し合う初級レベルのコミュニケーションスキルを身につけます。

<対象者>

英語圏での就学や就労を希望し、アカデミックな活動や専門的な活動に参加する際に、英語力と自信を向上させたい初級者の方。

<コース概要>

このコースでは、会話や共同作業を通してスピーキング力を伸ばします。各レッスンは特定のトピックに焦点を当てて進行します。トピックはセッションごとに変更されるため、受講者は希望する目標成果を達成するまでこのクラスを繰り返すことができます。このコースが終了するまでに、受講者は以下の方法によって、スピーキングに自信をつけることができます。

- 日常的なトピックについて話し合う。
- 英語で共同作業に参加する。

このコースの終了時までには、受講者は以下のスキルを獲得できます。

日常的な考えや経験を表現したり、話し合ったりするために、初級レベルで使われる言葉を使

用できる。

ディスカッションや共同作業を通して、新しい日常英単語を取り入れる。

音域の認識、アイデアの順序付け、情報の予測、推論などのコミュニケーションスキルの向上。

<レッスンで課される課題例（共同作業）>

- 予算内でディナーパーティーを計画する。
- 地元（またはその他の都市）のガイドを作成し、発表する。
- 地域に貢献するロボット/AI をデザインする。
- 予算内で自分の国のドライブ旅行を計画する。
- 好きなトピックについて Instagram Reel/TikTok を作成する。

② 発音&プレゼンテーションスキルコース

／English Pronunciation & Presentation Skills Course

英語の発音に磨きをかけて理解力を高め、英語でのプレゼンテーションを成功させるスキルと自信を身につけます。

<対象者>

英語圏で働く予定、あるいは英語を必要とするグローバル企業で働く予定の学生で、英語でのプレゼンテーションの際に、相手に伝わりやすく自信を持てるよう発音を改善したい方。

<コース概要>

このコースでは、効果的なプレゼンテーションを行うための言語的・非言語的要素に加え、的を絞った発音の練習に重点を置きながら、自信をもってプレゼンテーションを行えるようにし

ます。受講生は以下のことを行います：

- 自身のオリジナル・プレゼンテーションの企画と実施。
- 受講仲間へのフィードバック。
- 発音の問題点を見つけ、的を絞った発音練習をする。

このコースの終了時までには、受講者は以下のスキルを獲得できます。

- 効果的なプレゼンテーションを行うための言語的、非言語的要素を活用した英語でのプレゼンテーションを計画し、実施する。
- 明確で整理された、剽窃のない短いプレゼンテーションを行うことができる。
- 理解しやすいように発音を改善する。

<レッスンで課される課題例>

- ミニ・プレゼンテーション# 1：イメージや意味のあるものを描写する。
- ミニ・プレゼンテーション# 2：エレベータースピーチ。
- ミニ・プレゼンテーション# 3：個人的な話をする。
- 最終プレゼンテーション：受講者が選んだトピックについて、パワーポイントを使って情報提供する。

③ プロフェッショナル&アカデミック英会話コース

／Professional & Academic Conversations in English for University Students

本格的な会話やディベートを通して、中級から上級レベルの流暢さを向上させ、ハイレベルな語彙を増やします。

<対象者>

英語圏での就学や就労を希望し、流暢な英語力を身につけ、学業や専門的な活動に参加する際に自信をつけたい、中級から上級レベルの英語力を持つ学生。

<コース概要>

このコースは、トピックに重点を置いたワークショップのシリーズで、講師が進行役を務めますが、受講生の主体的な参加によって進められます。トピックはセッションごとに変更されることがあるため、受講者は目標とする成果を達成するまでこのクラスを繰り返すことができます。また、受講生は、以下のような方法で英語の流暢さと自信を向上させることができます。

- 学術的、専門的に関心の高いトピックについて、活発なディスカッションやディベートを行う、
- 様々なトピックに関する記事を読み、ディスカッションやディベートに重要なハイレベル語彙を取り入れる。
- 流暢かつ自信を持って英語でのディスカッションを進め、リードするための言語文化的ルールを学ぶ。

このコースの終了時までには、受講者は以下のスキルを獲得できます。

- 中級から上級レベルの高頻度語彙や専門語彙を増やす。
- 学術的または専門的なトピックについて、しっかりとしたディスカッションやディベートを行うことができる。
- ディスカッションやディベートを円滑に進めるための言語的・文化的ルールを活用し、自信を持って流暢に英語で話すことができる。
- 頻度の高い単語やイディオムを会話に取り入れる。

<レッスンで課される課題例>

このコースは、アカデミックで専門的なトピックを扱うワークショップであるため、大きな課題はありませんが、受講生には以下のことが課されます。

- 授業前にすべての記事を批判的に読み、ディスカッションやディベートの際に記事を参照すること、
- 正確な言語的特徴や語彙を活用し、クラスのディスカッションに十分に参加すること。
- 文化的な規範に従って英語で効果的に交流すること。

以上